

大学・高専機能強化支援事業

2025.2.19

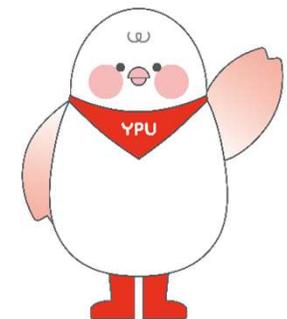
令和6年度大学等の理系転換・拡充による人材育成機能強化会議

事例発表②

企業連携等のグッドプラクティス (公立大学の例)

山口県立大学 副学長（教育・学生支援担当）
SPARC推進室長 岩野雅子

国際文化学部 藏田典子、吉永敦征



1. 支援事業による取り組み

- ① 情報社会学科の新設
- ② 入口から出口を支えるハード・ソフトの整備
- ③ 企業等と連携したPBLの深化

2. 企業等と連携したPBLの事例

- ① 不動産会社との連携
- ② 広告代理店との連携

① 情報社会学科の新設

<https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/ic/sc/>



本学の強み

大学教育改革
11の成果

地域貢献型
大学の実績

国公私3大学
連携から
得た知見



支援事業



- ▶ 文学×工学による「文系DX人材」の育成
- ▶ 産業界と連携した地域社会のリデザイン（価値・システムの革新）への挑戦
- ▶ 人々のWell-beingのためのDX推進

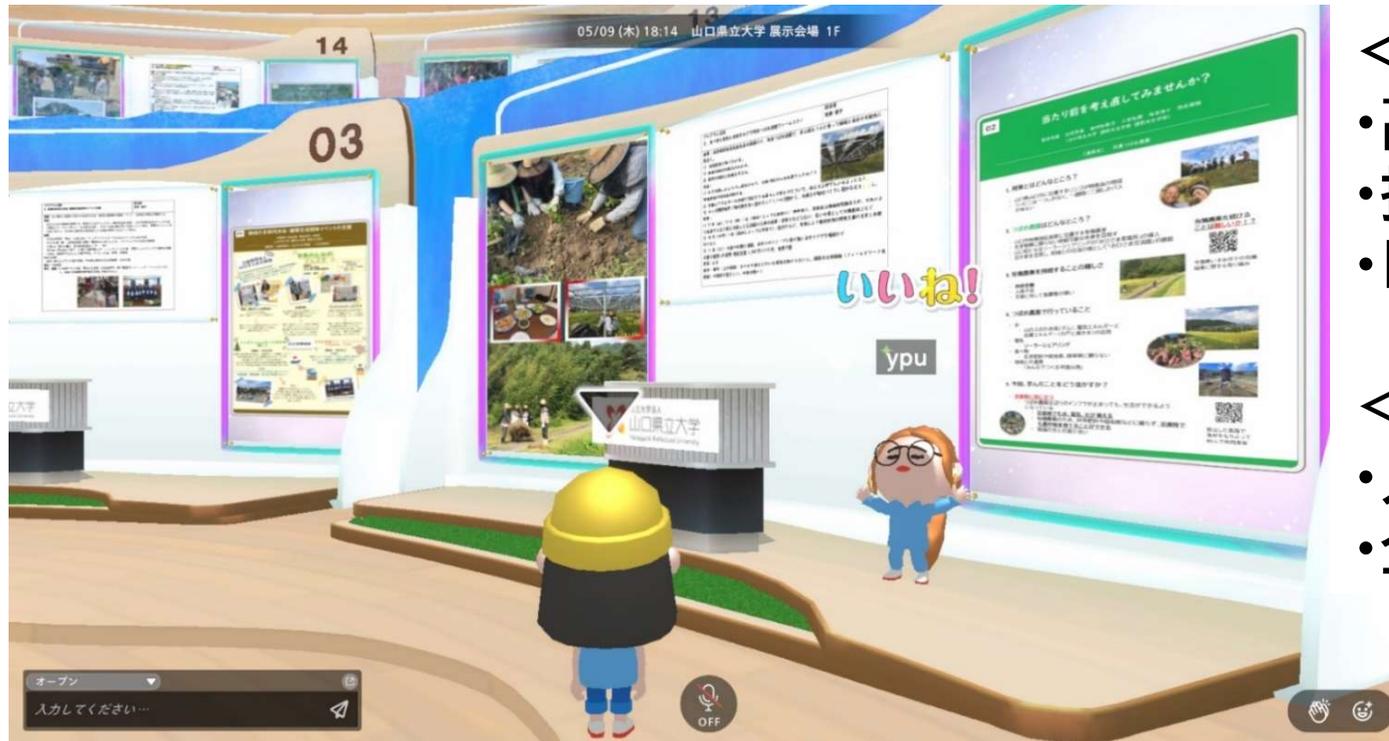
国際文化学科 母語x外国語(2言語)xデジタル グローバル・コミュニケーター

文化創造学科 デジタルxデザインx日本・地域文化 地域文化のコーディネーター

情報社会学科 データ・デジタル・ビジネスマインド テクノロジー・コミュニケーター

②「入口から出口」を支えるハード・ソフトの整備

▶メタバース学習・交流空間の構築



<試行>

- ・高校生への学科説明会
- ・授業の実施
- ・PBLポスター発表会

<今後>

- ・入学前教育
- ・企業説明会、他

▶3つの教室と自習室の整備

▶デジタル教育機器等の配置



③ 企業等と連携したPBLの深化

産業界とともに「若者」を育て、「地域活性化のアイデア」を育てる

2023年度: 7つの企業・団体

電力会社、広告メディア会社、印刷会社、商工会議所、
建設会社(2)、自治体(市)

2024年度: 9つの企業・団体

人材派遣会社、広告メディア会社、小売業、建設会社(2)、
自動車部品BtoB企業、商工会議所、自治体(県、市)

- ・銀行関連グループとの協定
- ・県内外のデジタル関連企業とのミーティング(9)
- ・地元企業訪問(16)

2025年度: 14の企業・団体 → 2027年度: 30程度(135人)

観光会社、生命保険会社、NGO等を追加

- ・DXをパターン化(データ分析型、アプリ開発型、AI構築型等)
- ・日韓スタートアップ(起業家)マインド育成フォーラムの知見

2023年度のPBL発表会(3大学合同)



2024年度(2月13日実施):**企業と学生がテーマ別のテーブルトークを実施**

ループリック(一部抜粋)、学生の意見を聞き改善中

- C:(DX推進に向けた)地域課題の解決に対し、基礎的な知識や技能がまだ十分でなく、自ら企画・立案を行う経験も少ない
- B:地域課題解決に必要な基礎的な知識や技能が何であるかをある程度理解し、課題解決に向けた具体的な目標設定と計画策定(企画・立案)に至る道筋を見出すことができる
- A:地域課題に対し、身につけた知識や技能を活用して課題解決に向けた具体的な目標設定と計画策定(企画・立案)を行うことができる
- S:地域課題に対し、身につけた知識や技能を活用して、外部団体や対象者との連携を通して、課題解決に向けた具体的な目標設定と計画策定(企画・立案)を見直したり、修正したりすることができる
- SS:(DX推進に向けた)地域課題に対し、身につけた知識や技能を活用して、外部団体や対象者との連携を通して、課題解決に向けた具体的な目標設定と計画策定(企画・立案)を行い、振り返りを踏まえて問題点や課題を見出すことができる

①山口県内唯一の県立大学(地域貢献型)のミッション

②2007年から今日に至る 11の大学教育改革プログラム(参考資料)

地域や他大学との連携

地域人材の活用

社会人教育

インターンシップ・就業体験

地域住民の生活の質(QOL)の向上

地域産業や住民のニーズを活かした教育実践

地域課題を世界的視野でとらえ、地域に還元するアイデアだし(PBL)

③県が設置した「大学リーグやまぐち」

19の高等教育機関と8つの経済団体、その他支援機関・協会・県や市町会など
3部会(県内進学魅力向上部会 ・ 県内就職部会 ・ 地域貢献部会)

2. 企業等と連携したPBLの事例

- ① 不動産会社との連携
- ② 広告代理店との連携

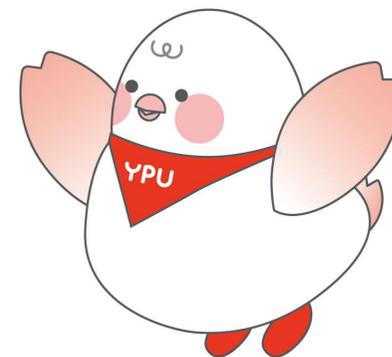
<重要な点>

- ・地域連携コーディネーターの役割（事前調整・途中介入・事後フォローアップ）
- ・教員と地域連携コーディネーターとの連携・協働
- ・全体を統括・調整する教員リーダー（室長、学部長、学科長）
- ・企業訪問で情報収集・提供：つながりと信頼の構築

企業等と連携したPBL:事例①

—不動産会社との連携—

国際文化学部 藏田典子



山口県立大学公式マスコットキャラクター「わいびよ」

不動産会社(株式会社田村ビルズ)との 地域連携PBL 2023-2024年度

目標

現実的で暮らしやすい街づくりの提案

解決するべき課題

過疎高齢化が進み、空き家の問題が生じている

求める成果物

- ・地域で暮らす人々のWell-being (幸福)をふまえた街づくりの提案
- ・対象物件(空き家)を活用した提案



対象地域: 大殿地区



- ・大学から車で10分と近い
- ・古い町並みが残る地域
- ・大内文化や幕末の遺産が残る



前半の活動内容 企業担当者とのフィールドワーク

- リノベーションしたい物件(空き家)を見て歩く
- 学生と企業とでアイデアを話し合う
- 歴史的な建造物を見学し参考にする



後半の活動内容 グループワークと最終発表

- グループワークでいくつものアイデアを出してみる
- 外部講師を招聘し2つの案を発表、助言を得る
- 街づくりの提案をさらに改善する



工夫した点

① 参加学生が主体性を発揮できるように

- 6人のメンバーを2つのグループに分け、責任をもたせる
- 地域データ、フィールドワークで得た情報や感覚を大切にする
- 個人で調べる時間、チームで話しあう時間、発表する時間

② 様々な授業を実施

• 企業担当者の講義や会社紹介

リノベーションで困っていることなど質疑応答

• 地域の現状を知るためのフィールドワーク

• 多様な視点を学ぶため、外部講師の招聘

- ソーシャルデザインの専門家
- 「Re:Earth(リ:アース)」の指導

※フィジカル空間の情報をバーチャル空間に再現するWebGIS
プラットフォーム

情報の発信(例)

・企業のウェブサイトで

「PBL事業 | 山口県立大学と地域活性化プロジェクトを進めています」
(田村ビルズ、2024年6月5日)

<https://tamura-builds.co.jp/8879/>

・地域情報誌のサイトで

「【NEWS】田村ビルズ×山口県立大学「山口大殿地区活性化プロジェクト」を
進行中!!」(山口県タウン情報トライアングル、2024年4月9日)

<https://tryangle.yamaguchi.jp/tryangle/yamaguchi-tamurabuildsproject>

・テレビ放送で(前年度の同企業との事業報告)

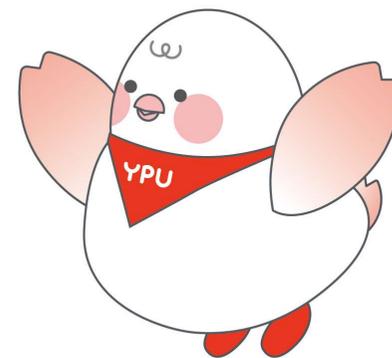
「建設不動産会社と山口県立大 空き家を留学生用シェアハウスに 空き家
問題解決へクラウドファンディング」(TYSテレビ山口、2024年2月14日)

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tys/997173?display=1>

企業等と連携したPBL:事例②

—広告代理店との連携—

国際文化学部 吉永 敦征



山口県立大学公式マスコットキャラクター「わいぴよ」

KRYSS(ケアールワイ サービスステーション)との 地域連携PBL

2023-2024年度

目標

山口県の活性化や人口流出に歯止めをかけるため、
若年層向けの情報発信

企業が抱えている課題

- ・県内企業から「人材不足を集める広告を出したい」という依頼が多い
- ・若年層(大学生以下)に情報を届ける方法を模索したい
- ・大学生とチームを組んで「若者に刺さる(かもしれない)」方法を考えたい

求める成果物

若年層に情報を届けるためのモデルを考案する

PBLの概要: 2023年度

- ディスカッション

- 広告の手法に長けている社員と大学生(5人)
- お互いの情報量を一定にすることを旨とする
- 長い映像 → ショート動画へのトレンドの変化を発見

- 実践

- 技術的(映像表現・動画編集)指導を受ける
スマホ用動画編集ソフト: Capcut
- ショート動画の作成と発信
- 観光地(下関市角島)でのロケ

- 成果物

- 1日10本以上のショート動画が作成できることを発見
- Youtubeにチャンネルを開設し発信



山口ぶーち盛り上げ隊

PBLの概要: 2024年度

- ディスカッション

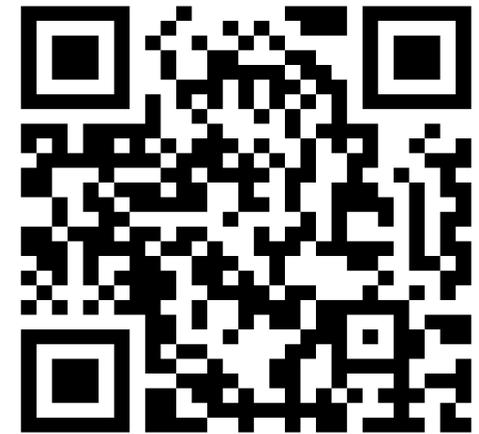
- YoutubeショートからTikTokへ
- インバウンド需要を見越しておすすめ観光スポット

- 実践

- 技術的指導を受ける
- 動画の形式を統一
- やまぐち市内でのロケ

- 成果物

- 英語字幕を入れて作成
- 市内のおすすめ場所の映像を25本作成
- 11月～1月にかけて毎週末に公開



ちょうどいい山口@tiktok

+α の取り組み

- 山口県選挙管理委員会の動画作成
 - 衆議院選挙用に、若者投票を促す動画

第50回衆議院議員総選挙の啓発動画について

ページ番号: 0277463 更新日: 2024年10月22日更新
印刷ページ表示

若年層に対し、衆議院議員総選挙の投票を呼びかけるため、山口県立大学の学生にご協力いただいて啓発動画を作成し、衆議院総選挙特設サイトに掲載しましたので、お知らせします。

1 啓発動画の概要

(1)山口県立大学の学生が考えた これで完璧！ 期日前投票！篇<外部リンク>
(2)山口県立大学の学生に突撃！選挙のQ&A<外部リンク>

2 掲載先

衆議院総選挙特設サイト<外部リンク>

3 協力

山口県立大学 国際文化学部 国際文化学科の学生（2年生）7人

4 その他の啓発動画

- 山口県選挙管理委員会「衆議院 はるちメッセージ」篇<外部リンク>
- 山口県選挙管理委員会「衆議院・はじめの一票」篇10月27日投票<外部リンク>

AI（人工知能）は
こんなページをおすすめします

- ① イベント等情報
- ② やまぐちシルガク
- ③ 「第50回衆議院議員総選挙のキックオフイベント」について
- ④ 山口県立大学が開催するイベントについてのお知らせ（毎月祭）（10/25）
- ⑤ 山口県立大学が開催するイベントについてのお知らせ（レノファ山口バリアックビューイング）（10/25）

見つからないときは

よくある質問

第50回衆議院議員総選挙 第26回 最高裁判所裁判官国民審査

投票日 **10月27日** 午前7時から 午後8時まで 期日前投票 期間: 10月16日(水)～10月26日(土) 投票時間: 午前8時30分～午後8時まで

山口県選挙管理委員会 委員長談話	選挙をきれいにする国民運動 山口県本部声明	衆議院議員総選挙 候補者・名簿届出状況等情報	最高裁判所裁判官国民審査 審査対象裁判官情報	めいすいくん スマイル輝活動	動画 チラシ	期日前投票所 一覧	初めて選挙へ 行く方へ	投票用紙の 記載上の注意
---------------------	--------------------------	---------------------------	---------------------------	-------------------	-----------	--------------	----------------	-----------------



第50回衆議院議員総選挙 第26回 最高裁判所裁判官国民審査

10月27日 投票時間 午前7時から 午後8時まで
(一部の地域は日時が異なります。)

衆議院議員総選挙
お問い合わせチャットボット
第50回衆議院議員総選挙について会話形式
でお答えします。
お気軽にご利用ください▶

- (1)山口県立大学の学生が考えた これで完璧！ 期日前投票！篇<外部リンク>
- (2)山口県立大学の学生に突撃！選挙のQ&A<外部リンク>

山口県のウェブサイト <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/press/277463.html>

+α の取り組み

- 山口県広告大賞への応募
 - 物理メディアでの広告手法の学習



プロジェクト成果の検証

- 2023年度の課題

- ショート動画を作成して大量に流す手法の発見
(視聴数の分析には至れなかった)

- 2024年度の対策

- TikTokの視聴数を分析(2月から分析予定)
(今の所データ数が300程度なので、分析方法とツールについては検討中)

次年度は、より効果的な情報発信モデルの模索へ

連携企業からのフィードバック

情報発信を生業とする私達にとって目まぐるしく移り変わる若者たちのライフスタイルやメディア、コミュニケーションツールについて、リアルな情報を得ることができるとともに、体験を共有することができる。

動画制作やデザインといったクリエイティブ作業において、学生たちのスキルや成長の度合いを知ることができ、クリエイティブ業務の将来の可能性を感じることができた。

YoutubeやTiktok動画については学生とコラボレーションすることで、学生目線での企業色の少ない動画を制作公開することができています。

一緒に業務を行っていくことでPBLの学生側の意識が変わり選挙の大切さを感じてもらえたことは大きかったかと思います。(中略)結果新聞社などでも活動を大きく取り上げてもらえることに繋がり選挙管理委員会からも評価されたことで当社の業務に大きく貢献してもらえたと思っています。

企業等と連携した授業科目を担当した 気づき

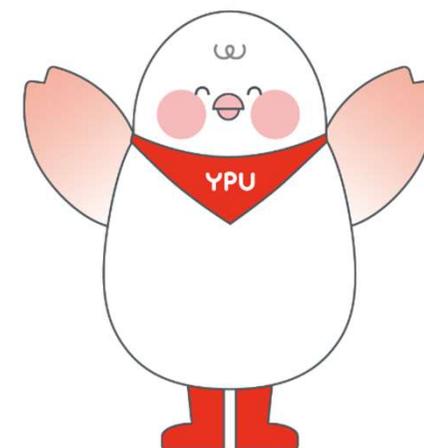
- **FD:教員の外部団体と連携した授業運営能力の向上**
 - 2024年10月・12月、2025年2月に実施
- **「成果」より「学びのプロセス」を重視**
 - 企業・担当教員・学生・コーディネーター間の調整と合意
(テーマ、期間、内容、レベル、成果物、報告等)

お互いの視界が開けた瞬間の知的な面白さ



ご清聴ありがとうございました。

<添付資料>
次ページから



<添付資料> 11の大学教育改革助成金

① (2007～2009年度) **社会人GP リカレント教育**
社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム
現職の栄養士、メタボリックシンドローム予防、
地域社会を変えるためのキャリアアップ研修

②③(2007～2009年度) **現代GP**

- ・現代的教育ニーズ取組支援プログラム **テーマ1**
多世代交流・地域共生、**地域づくり達人塾で**
社会人と大学生がともに学び、若者を育て、定住促進
- ・現代的教育ニーズ取組支援プログラム **テーマ4**
人に優しい大学、環境に優しい人づくり
地球や地域**環境をテーマとした学科混合型の初年次教育、**
副専攻

④（2007年度～2009年度） **特色GP**

特色ある大学教育支援プログラム

若者の社会性・主体性の育成、チームアプローチ、
社会福祉士（ソーシャルワーカー）養成

⑤（2008年度） **国際化加速GP**

大学教育の国際化加速プログラム（海外先進教育研究実践支援
（教育実践型））

日本人学生・留学生がともに現地で学ぶ

「やまぐちステイーズ」（ラーン・オン・ロケーション
LOL: Learn on Location)

⑥（2007年度～2010年度） **学生支援GP**

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム

人とかかわる力の向上、社会人になる前に**キャンパス内で**
プレ社会経験、学生スタッフ、ジュニアTA制度

⑦ (2009～2011年度) **戦略的大学連携**
大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム
**3つの大学（公立・私立・私立）が共同、
地域産業や住民ニーズを活かした教育実践**

⑧ (2012～2016年度) **グローバル事業**
グローバル人材育成推進事業（タイプB：特色型）
世界と地域をつなぐインターローカル人材の育成、**地域の課題を
世界的視野でとらえ、地域に還元するアイデアだし（PBL）**

⑨ (2012～2014年度) **産業界ニーズGP**
産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
インターンシップ/就業体験の拡充

⑩ (2013～2017年度) **COC事業**
地（知）の拠点整備事業
QOL(生活の質)の向上→Well-being、共生教育、共生研究

⑪ (2022～2027年度) **地域活性化人材育成 (SPARC) 事業**
ひとや地域 (まち・文化・教育) のwell-beingに貢献する
文系DX人材の育成

- **3つの大学の連合体**:コンソーシアム (国立・公立・私立)
- 文系DX人材を育成するSPARC教育プログラム
- **3つの大学の学生がともに学ぶ**「連携開設科目」
- **産業界とのDX-PBL**をともに発表する「共同開設科目」
- 学部再編、教学IRの実施、LMSの活用
- 高大接続事業、リカレント教育事業、他